

|      |          |           |             |        |      |
|------|----------|-----------|-------------|--------|------|
| 講義名  | 日本語C（書く） |           |             | 授業形態   |      |
| 担当教員 | 福岡 寿美子   | 開講期・曜日・時間 | 前期 木曜日 2 時限 |        |      |
|      |          | 単位数       | 2           | 履修開始年次 | 2 年生 |

### 主題と概要

留学生がアカデミック・ライティングについて学ぶ。  
 留学生がピア・ラーニング(Peer Learning)を行うことによって、相互リソース化(自分も相手もお互いに貢献できる互恵的存在である)、批判的思考の獲得(対話から「問い」が生まれるプロセスを重視する)、社会的関係の構築(背景の異なる多様な「他者」と向きあい、認めあう態度を身につける)ができる。

### 到達目標

留学生が「大学での学び」のための日本語のライティングとコミュニケーションができるようになることを到達目標とする。  
 留学生がピア・レスポンスを行うことによって、より良い文章が作成できるようになることを到達目標とする。  
 留学生がアカデミック・ライティングを通して、考える学習を行うようになることを到達目標とする。  
 到達目標においては、課題の提出、中間試験、期末試験等において、その到達度を測る。

### 提出課題

ワークシート、課題作文、ルーブリック等、授業中にその都度指示する。

### 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

各学生が提出した課題（ワークシート、作文、ルーブリック等）について、一人一人にチェックおよびコメントを行い、次の授業において、各々に返却をし、全体としての講評・解説等も行い、フィードバックをする。

### 評価の基準

期末試験（30％）、中間試験（10％）、課題の提出（30％）、授業参加度（30％）等による総合評価を行う。

### 履修にあたっての注意・助言他

出欠は毎回とる。  
 全授業回数の1/3以上欠席した場合は、試験を受けることができない。  
 連続3回で1回欠席とする。  
 ピア・レスポンスを行う。  
 真面目かつ積極的な授業参加を望む。

### 教科書

.使用しない。

### 参考図書

|                        |                  |     |       |               |
|------------------------|------------------|-----|-------|---------------|
| .改訂版大学・大学院留学生の日本語 作文編. | アカデミック・ジャパニーズ研究会 | アルク | 1,600 | 9784757426320 |
|------------------------|------------------|-----|-------|---------------|

### その他

『ピアで学ぶ大学生・留学生の日本語コミュニケーション・プレゼンテーションとライティング』大島淳生、大塚理恵子、岩田夏穂、池田玲子著 ひつじ書房  
 『大学で学ぶための日本語ライティング 短文からレポート作成まで』佐々木清枝、編井和代、船尾昌代著 ジャパンタイムス  
 『改訂版留学生のための論理的な文章の書き方』二通信子、佐藤不二子著 スリーエーネットワーク

### 授業計画

- イントロダクション：授業の進め方および注意事項、スケジュール、教材、評価方法、自己紹介作文、他  
 【予習】シラバスを熟読し、その内容を理解して確認する。（1時間）  
 【復習】自己紹介作文を書く。（3時間）
- ピア活動の意義について、他  
 【予習】テキスト（プリント）のピア活動の意義について読む。（2時間）  
 【復習】ピア活動の意義について深く理解する。（2時間）
- テーマ1について、他  
 【予習】テキスト（プリント）の「自分をアピールする文を書く」の準備学習をする。（2時間）  
 【復習】各表現について確認・復習をし、理解を深める。（2時間）
- テーマ2についてディスカッション、他  
 【予習】テキスト（プリント）の「自分をアピールする文を書く」の課題について考える。（2時間）  
 【復習】「自分をアピールする文を書く」の課題について整理し、理解を深める。（2時間）
- 文章作成、他  
 【予習】作文 を書く。（2時間）  
 【復習】作文 を自己推敲する。（2時間）
- ピア・レスポンス、他  
 【予習】「ピア・レスポンスチェックシート」を読んで理解する。（2時間）  
 【復習】ピア・レスポンス資料を確認する。（2時間）
- 文章作成、他  
 【予習】作文 を書く。（2時間）  
 【復習】作文 を自己推敲する。（2時間）
- 中間理解度試験の実施およびその解説、他  
 【予習】中間理解度試験について勉強する。（3時間）  
 【復習】中間理解度試験について確認・復習をする。（1時間）
- テーマ2について、他  
 【予習】テーマを考える。（2時間）  
 【復習】テーマについて再確認をし、決定する。（2時間）
- テーマ2についてディスカッション、他  
 【予習】テーマに関する資料を収集する。（2時間）  
 【復習】収集した資料を確認し、まとめる。（2時間）
- 文章作成、他  
 【予習】作文 を書く。（2時間）  
 【復習】作文 を自己推敲する。（2時間）
- ピア・レスポンス、他  
 【予習】「ピア・レスポンスチェックシート」を確認する。（2時間）  
 【復習】ピア・レスポンス資料を確認する。（2時間）
- 文章作成、他  
 【予習】作文 を書く。（2時間）  
 【復習】作文 を自己推敲する。（2時間）
- ルーブリック作成、フィードバック、他  
 【予習】ルーブリックの規程（項目）、達成度について理解する。ルーブリック例を確認する。（2時間）  
 【復習】作成したルーブリックを基に振り返る。（2時間）
- 総復習および期末試験について、課題提出、他  
 【予習】まとめシートを基に確認・復習をする。 期末試験のための総復習をする。（3時間）  
 【復習】期末試験のための総確認をして、総復習をする。（1時間）

### 授業形態（アクティブ・ラーニング）

|  |  |
|--|--|
| ア：PBL（課題解決型学習）                         | イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） |
| <input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート | <input type="radio"/> エ：グループワーク            |
| <input type="radio"/> オ：プレゼンテーション      | カ：実習、フィールドワーク                              |
| キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）   |  |

### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

必要な日本語作文能力を身につけ、活用することができる。  
 ピア・ラーニング、ピア・レスポンスを通して、仲間と協働して、物事を成し遂げることができ、他者との意見の違いや立場・考え方の違いを理解し、協力して物事を進めることができる。

### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

### 実務経験の有無及び活用

### 備考